帳票データチェック値　3回目に関する変更案

解釈２（追記個所を赤字で明示）

***CI-NET LiteS***

実装規約

Ver.2.1　ad.8

発行

一般財団法人 建設業振興基金

情報化評議会

20191128版

B.情報表現規約

### Ⅱ. 建築見積メッセージ

|  |
| --- |
| [1179]帳票データチェック値  　メッセージデータの授受が正確に行われているかどうかをお互いにチェックするための項目。　例】全明細行数などをセットする。 |

* 以下のルールに従う。

表B.Ⅱ- 8　 帳票データチェック値

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| マルチ回数 | 建築見積依頼 | 建築見積回答 |
| 1回目 | 自メッセージの[1]データ処理No.と同じ値。15バイト全体の中の右詰め5桁。 | 対応する建築見積メッセージ値と同じ（変更せず返信）。 |
| 2～9回目 | 当面使用しない。 | 当面使用しない。 |

B.情報表現規約

### Ⅲ. 設備見積メッセージ

その他のデータ項目

|  |
| --- |
| [55]自由使用欄  　各社独自のデータ項目に使用するフリーエリア。 |

・本データ項目は設備見積依頼/回答メッセージでは使用しないことが推奨される。

　次バージョンの改訂時には、本データ項目は削除される予定である。

|  |
| --- |
| [1179]帳票データチェック値  　メッセージの授受が正確に行われているかどうかをお互いにチェックするための項目。  例】全明細行数などをセットする。 |

・将来の活用のために確保するものであり、当面使用しない。

|  |
| --- |
| [1383]受注者専用使用欄  　受注者独自のデータ項目に使用するフリーエリア。 |

・1バイト（半角）文字、2バイト（全角）文字混在使用可とする。

・設備見積依頼メッセージで、設備見積回答メッセージを受けて再度の見積依頼を行う場合などは、対応する設備見積回答メッセージの値を変更せず送信する。

|  |
| --- |
| [1384]発注者専用使用欄  　発注者独自のデータ項目に使用するフリーエリア。 |

・1バイト（半角）文字、2バイト（全角）文字混在使用可とする。

・設備見積回答メッセージでは、対応する設備見積依頼メッセージの値を変更せず送信する。

B.情報表現規約

### Ⅳ. 設備機器見積メッセージ

B.情報表現規約

### Ⅴ. 購買見積メッセージ

その他

|  |
| --- |
| [1179]帳票データチェック値  　メッセージデータの授受が正確に行われているかどうかをお互いにチェックするための項目。　例】全明細行数などをセットする。 |

・次表参照に従う。

表B.Ⅴ- 11　購買見積依頼・回答メッセージにおける[1179]帳票データチェック値

| 回数 | 購買見積依頼 | 購買見積回答 |
| --- | --- | --- |
| 1 | 購買見積依頼メッセージの[1]データ処理No.、15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する購買見積依頼メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 2 | 購買見積依頼メッセージの内訳レコード数、15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する購買見積依頼メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 3 | 購買見積依頼メッセージの全階層の明細行の内訳明細本体行（[1288]=5、[1289]=00）の[1218]明細数量の絶対値の合計、整数部12桁、小数部3桁。 | 対応する購買見積依頼メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 4 | 購買見積依頼メッセージのデータ作成年月日時分秒(YYYYMMDDhhmmss)、15バイト全体の中の右詰め14桁。 | 対応する購買見積依頼メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 5 | 1～14桁ブランク。  15桁目=「1」なら内訳照合せず、「0」またはブランクなら内訳照合する。 | 15バイト全体の中の左詰め12桁は見積回答メッセージの送信処理を行う年月日時分(YYYYMMDDhhmm)。  13～15桁目は対応する購買見積依頼メッセージの内容をそのままセットする。 |
| 6 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 7  【注】 | 0またはブランク：明細情報部分がフラットである場合(15バイト全体の中の右詰め)  1：明細情報部分が階層構造を持つ場合(15バイト全体の中の右詰め1桁) | 0またはブランク：明細情報部分がフラットである場合 (15バイト全体の中の右詰め)  1：明細情報部分が階層構造を持つ場合(15バイト全体の中の右詰め1桁) |
| 8 | ・一度提出された見積回答を受けて再度見積依頼を行う場合に使用する。  ・対応する購買見積回答メッセージの[1]データ処理No.の値と同じ（変更せず返信）。15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。  ・「表 B.Ⅴ-4 再見積依頼時、元の購買見積回答メッセージを識別する方法の例」および「表 B.Ⅴ-5再見積依頼時、購買見積依頼メッセージに必要となるデータ項目」を参照のこと。 | 使用しない。 |
| 9 | ・一度提出された見積回答を受けて再度見積依頼を行う場合に使用する。  ・対応する購買見積回答メッセージの[1179]帳票データチェック値のマルチ1回目の値と同じ（変更せず返信）。15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。  ・「表 B.Ⅴ-4再見積依頼時、元の購買見積回答メッセージを識別する方法の例」および「表 B.Ⅴ-5 再見積依頼時、購買見積依頼メッセージに必要となるデータ項目」を参照のこと。 | 使用しない。 |

表B.Ⅴ- 12　見積不採用通知における[1179]帳票データチェック値

|  |  |
| --- | --- |
| 回数 | 見積不採用通知 |
| 1 | 使用しない |
| 2 | 使用しない |
| 3 | 使用しない |
| 4 | 使用しない |
| 5 | 使用しない |
| 6 | 使用しない |
| 7 | 使用しない |
| 8 | 使用しない |
| 9 | 使用しない |

【注】明細情報部分の階層構造について

・メッセージの明細情報部分の階層構造は、[1200]明細コードによって表現される。この詳細は、CI-NET標準BP「第3章第2節3. 3.16明細コード」を参照。

・「明細情報部分がフラット」とは、この規則に準拠しつつも、全ての明細行の[1200]明細コードが4桁の数字であり、明細情報が階層構造をとっていない場合を意味する。

・一方、「明細情報部分が階層構造を持つ」とは、フラットでない場合を意味する。なお、階層構造を持つデータを前提としたシステムを使用する場合でも、あるメッセージにおいて明細情報部分の構造がたまたまフラットになることも想定されるが、このケースでも[1179]帳票データチェック値の7回目マルチの値は1（階層構造を持つ）でよい。



図B.Ⅴ- 6 明細情報部分がフラットなデータの例



図B.Ⅴ- 7　明細情報部分が階層構造を持つデータの例

B.情報表現規約

### Ⅵ. 注文メッセージ

その他

|  |
| --- |
| [1179]帳票データチェック値  　メッセージデータの授受が正確に行われているかどうかをお互いにチェックするための項目。　例】全明細行数などをセットする。 |

・次表参照以降の通り。

表B.Ⅵ- 17　確定注文、注文請けメッセージの[1179]帳票データチェック値

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 回数 | 確定注文 | 注文請け |
| 1 | 確定注文メッセージの[1]データ処理No.、15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する確定注文メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 2 | 確定注文メッセージの内訳レコード数、15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する確定注文メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 3 | 確定注文メッセージの全階層の明細行の内訳明細本体行（[1288]=5、[1289]=00）の[1218]明細数量の絶対値の合計、整数部12桁、小数部3桁。 | 対応する確定注文メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 4 | 確定注文メッセージのデータ作成年月日時分秒(YYYYMMDDhhmmss)、15バイト全体の中の右詰め14桁。 | 対応する確定注文メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 5 | 1～14桁ブランク。  15桁目=「1」なら内訳照合せず、「0」またはブランクなら内訳照合する。 | 15バイト全体の中の左詰め1～12桁は注文請けメッセージの送信処理を行う年月日時分(YYYYMMDDhhmm)。  13～15桁目は対応する確定注文メッセージの内容をそのままセットする。 |
| 6 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 7  【注】 | 0またはブランク：明細情報部分がフラットである場合(15バイト全体の中の右詰め)  1：明細情報部分が階層構造を持つ場合(15バイト全体の中の右詰め1桁) | 対応する確定注文メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 8 | 対応する購買見積回答メッセージの[1]データ処理No.の値と同じ（変更せず返信）。15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する確定注文メッセージの値と同じ（変更せず返信）。15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 |
| 9 | 使用しない。 | 使用しない。 |

表B.Ⅵ- 18　　鑑項目合意変更申込、鑑項目合意変更承諾メッセージの  
[1179]帳票データチェック値

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 回数 | 鑑項目合意変更申込 | 鑑項目合意変更承諾 |
| 1 | 鑑項目合意変更申込メッセージの[1]データ処理No.、15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する鑑項目合意変更申込メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 2 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 3 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 4 | 鑑項目合意変更申込メッセージのデータ作成年月日時分秒(YYYYMMDDhhmmss)、15バイト全体の中の右詰め14桁。 | 対応する鑑項目合意変更申込メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 5 | 使用しない。 | 鑑項目合意変更承諾メッセージの送信処理を行う年月日時分(YYYYMMDDhhmm)。15バイト全体の中の左詰め1～12桁にセットする。 |
| 6 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 7 | 0またはブランク：明細情報部分がフラットである場合(15バイト全体の中の右詰め)  1：明細情報部分が階層構造を持つ場合(15バイト全体の中の右詰め1桁) | 対応する鑑項目合意変更申込メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 8 | 対応する注文請けメッセージの[1]データ処理No.の値と同じ（変更せず返信）。15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する鑑項目合意変更申込メッセージの値と同じ（変更せず返信）。15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 |
| 9 | 使用しない。 | 使用しない。 |

表B.Ⅵ- 19　合意解除申込、合意解除承諾メッセージの[1179]帳票データチェック値

| 回数 | 合意解除申込 | 合意解除承諾 |
| --- | --- | --- |
| 1 | 合意解除申込メッセージの[1]データ処理No.、15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する合意解除申込メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 2 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 3 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 4 | 合意解除申込メッセージのデータ作成年月日時分秒(YYYYMMDDhhmmss)、15バイト全体の中の右詰め14桁。 | 対応する合意解除申込メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 5 | 使用しない。 | 合意解除承諾メッセージの送信処理を行う年月日時分(YYYYMMDDhhmm)。15バイト全体の中の左詰め1～12桁にセットする。 |
| 6 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 7 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 8 | 対応する注文請けメッセージの[1]データ処理No.の値と同じ（変更せず返信）。15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する合意解除申込メッセージの値と同じ（変更せず返信）。15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 |
| 9 | 使用しない。 | 使用しない。 |

表B.Ⅵ- 20　一方的解除通知メッセージの[1179]帳票データチェック値

|  |  |
| --- | --- |
| 回数 | 一方的解除通知 |
| 1 | 一方的解除通知メッセージの[1]データ処理No.、15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 |
| 2 | 使用しない。 |
| 3 | 使用しない。 |
| 4 | 一方的解除通知メッセージのデータ作成年月日時分秒(YYYYMMDDhhmmss)、15バイト全体の中の右詰め14桁。 |
| 5 | 使用しない。 |
| 6 | 使用しない。 |
| 7  【注】 | 使用しない。 |
| 8 | 対応する注文請けメッセージの[1]データ処理No.の値と同じ（変更せず返信）。15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 |
| 9 | 使用しない。 |

【注】明細情報部分のフラット・階層構造について

・メッセージの明細情報部分の階層構造は、[1200]明細コードによって表現される。この詳細は、CI-NET標準BP「第3章第2節3. 3.16明細コード」を参照。

・「明細情報部分がフラット」とは、この規則に準拠しつつも、全ての明細行の[1200]明細コードが4桁の数字であり、明細情報部分が階層構造をとっていない場合を意味する。

・一方、「明細情報部分が階層構造を持つ」とは、フラットでない場合を意味する。なお、階層構造を持つデータを前提としたシステムを使用する場合でも、あるメッセージにおいて明細情報部分の構造がたまたまフラットになることも想定されるが、このケースでも[1179]帳票データチェック値の7回目マルチの値は1（階層構造を持つ）でよい。

【例】



図B.Ⅵ- 18　明細情報部分がフラットなデータの例

【例】

　図B.Ⅵ- 19　明細情報部分が階層構造を持つデータの例

B.情報表現規約

### Ⅶ．出来高・請求・立替金・契約打切メッセージ

帳票データチェック値の内容

|  |
| --- |
| [1179]帳票データチェック値  　メッセージデータの授受が正確に行われているかどうかをお互いにチェックするための項目。　例】全明細行数などをセットする。 |

・次表参照以降の通り。

表B.Ⅶ- 32　合意打切申込、承諾メッセージの[1179]帳票データチェック値

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 回数 | 合意打切申込 | 合意打切承諾 |
| 1 | 合意打切申込メッセージの[1]データ処理No.、15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する合意打切申込メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 2 | 合意打切申込メッセージの内訳レコード数、15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する合意打切申込メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 3 | 合意打切申込メッセージの全階層の明細行の内訳明細本体行（[1288]=5、[1289]=00）の[1234]今回迄累積出来高数量明細の絶対値の合計、整数部12桁、小数部3桁。 | 対応する合意打切申込メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 4 | 合意打切申込メッセージのデータ作成年月日時分秒(YYYYMMDDhhmmss)、15バイト全体の中の右詰め14桁。 | 対応する合意打切申込メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 5 | 使用しない。 | 合意打切承諾メッセージの送信処理を行う年月日時分(YYYYMMDDhhmm)。15バイト全体の中の左詰め12桁。 |
| 6 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 7  【注】 | 0またはブランク：明細情報部分がフラットである場合(15バイト全体の中の右詰め)  1：明細情報部分が階層構造を持つ場合(15バイト全体の中の右詰め1桁) | 対応する合意打切申込メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 8 | 打切対象とする契約の注文請けメッセージの[1]データ処理No.の値と同じ（変更せず返信）。15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する合意打切申込メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 9 | 使用しない。 | 使用しない。 |

表B.Ⅶ- 33　一方的打切通知メッセージの[1179]帳票データチェック値

| 回数 | 一方的打切通知 |
| --- | --- |
| 1 | 一方的打切通知メッセージの[1]データ処理No、15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 |
| 2 | 一方的打切通知メッセージの内訳レコード数、15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 |
| 3 | 一方的打切通知メッセージの全階層の明細行の内訳明細本体行（[1288]=5、[1289]=00）の[1234]今回迄累積出来高数量明細の絶対値の合計、整数部12桁、小数部3桁。 |
| 4 | 一方的打切通知メッセージのデータ作成年月日時分秒(YYYYMMDDhhmmss)、15バイト全体の中の右詰め14桁。 |
| 5 | 使用しない。 |
| 6 | 使用しない。 |
| 7  【注】 | 0またはブランク：明細情報部分がフラットである場合(15バイト全体の中の右詰め)  1：明細情報部分が階層構造を持つ場合(15バイト全体の中の右詰め1桁) |
| 8 | 打切対象とする契約の注文請けメッセージの[1]データ処理No.の値と同じ（変更せず返信）。15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 |
| 9 | 使用しない。 |

　表B.Ⅶ- 34　出来高要請メッセージの[1179]帳票データチェック値

|  |  |
| --- | --- |
| 回数 | 出来高要請 |
| 1 | 出来高要請メッセージの[1]データ処理No.、15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 |
| 2 | 出来高要請メッセージの内訳レコード数、15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 |
| 3 | 使用しない。 |
| 4 | 出来高要請メッセージのデータ作成年月日時分秒(YYYYMMDDhhmmss)、15バイト全体の中の右詰め14桁。 |
| 5 | 使用しない。 |
| 6 | 使用しない。 |
| 7  【注】 | 0またはブランク：明細情報部分がフラットである場合(15バイト全体の中の右詰め)  1：明細情報部分が階層構造を持つ場合(15バイト全体の中の右詰め1桁) |
| 8 | 使用しない。 |
| 9 | 使用しない。 |

表B.Ⅶ- 35　出来高報告・確認メッセージの[1179]帳票データチェック値

| 回数 | 出来高報告 | 出来高確認 |
| --- | --- | --- |
| 1 | 出来高報告メッセージの[1]データ処理No.、15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する出来高報告メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 2 | 出来高報告メッセージの内訳レコード数、15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する出来高報告メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 3 | 出来高報告メッセージの全階層の明細行の内訳明細本体行（[1288]=5、[1289]=00）の[1234]今回迄累積出来高数量明細の絶対値の合計、整数部12桁、小数部3桁。 | 対応する出来高報告メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 4 | 出来高報告メッセージのデータ作成年月日時分秒(YYYYMMDDhhmmss)、15バイト全体の中の右詰め14桁。 | 対応する出来高報告メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 5 | 使用しない。 | 出来高確認メッセージの送信処理を行う年月日時分(YYYYMMDDhhmm)。15バイト全体の中の左詰め12桁。 |
| 6 | 注文請け以外のメッセージ(購買見積回答あるいは出来高要請メッセージ)から出来高報告を作成した場合に限り、そのメッセージの種別(購買見積回答：1、出来高要請：2)と、[1]データ処理No.を記載する。種別は10桁目、[1]は11～15桁目(計15バイト全体の中の右詰め6桁)。 | 対応する出来高報告メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 7  【注】 | 0またはブランク：明細情報部分がフラットである場合(15バイト全体の中の右詰め)  1：明細情報部分が階層構造を持つ場合(15バイト全体の中の右詰め1桁) | 0またはブランク：明細情報部分がフラットである場合(15バイト全体の中の右詰め)  1：明細情報部分が階層構造を持つ場合(15バイト全体の中の右詰め1桁) |
| 8 | 対応する注文請けメッセージの[1]データ処理No.の値と同じ（変更せず返信）。15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する出来高報告メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 9 | 対応する出来高確認メッセージ（存在すれば）の[1]データ処理No.の値と同じ（変更せず返信）。15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 使用しない。 |

表B.Ⅶ- 36　請求・請求確認メッセージの[1179]帳票データチェック値

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 回数 | 請求 | 請求確認 |
| 1 | 請求メッセージの[1]データ処理No.、15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する請求メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 2 | 請求メッセージの内訳レコード数、15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する請求メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 3 | 請求メッセージの全階層の明細行の内訳明細本体行（[1288]=5、[1289]=00）の[1234]今回迄累積出来高数量明細の絶対値の合計、整数部12桁、小数部3桁。 | 対応する請求メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 4 | 請求メッセージのデータ作成年月日時分秒(YYYYMMDDhhmmss)、15バイト全体の中の右詰め14桁。 | 対応する請求メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 5 | 使用しない。 | 請求確認メッセージの送信処理を行う年月日時分(YYYYMMDDhhmm)。15バイト全体の中の左詰め12桁。 |
| 6 | 対応する注文請けメッセージの[1]データ処理No.の値と同じ。15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する請求メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 7  【注】 | 0またはブランク：明細情報部分がフラットである場合(15バイト全体の中の右詰め)  1：明細情報部分が階層構造を持つ場合(15バイト全体の中の右詰め1桁) | 0またはブランク：明細情報部分がフラットである場合(15バイト全体の中の右詰め)  1：明細情報部分が階層構造を持つ場合(15バイト全体の中の右詰め1桁) |
| 8 | 請求の根拠となる出来高確認(承認)メッセージの[1]データ処理No.の値と同じ（変更せず返信）。15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する請求メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 9 | 対応する出来高報告メッセージの[1]データ処理No.の値と同じ（変更せず返信）。15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 使用しない。 |

表B.Ⅶ- 37　立替金報告・確認メッセージの[1179]帳票データチェック値

| 回数 | 立替金報告 | 立替金確認 |
| --- | --- | --- |
| 1 | 立替金報告メッセージの[1]データ処理No.、15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する立替金報告メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 2 | 立替金報告メッセージの内訳レコード数、15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する立替金報告メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 3 | 立替金報告メッセージの全階層の明細行の内訳明細本体行（[1288]=5、[1289]=00）の[1218]明細数量の絶対値の合計、整数部12桁、小数部3桁。 | 対応する立替金報告メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 4 | 立替金報告メッセージのデータ作成年月日時分秒(YYYYMMDDhhmmss)、15バイト全体の中の右詰め14桁。 | 対応する立替金報告メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 5 | 使用しない。 | 立替金確認メッセージの送信処理を行う年月日時分(YYYYMMDDhhmm)。15バイト全体の中の左詰め12桁。 |
| 6 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 7  【注】 | 0またはブランク：明細情報部分がフラットである場合(15バイト全体の中の右詰め)  1：明細情報部分が階層構造を持つ場合(15バイト全体の中の右詰め1桁) | 0またはブランク：明細情報部分がフラットである場合(15バイト全体の中の右詰め)  1：明細情報部分が階層構造を持つ場合(15バイト全体の中の右詰め1桁) |
| 8 | 対応する注文請けメッセージの[1]データ処理No.の値と同じ。15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 対応する立替金報告メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 9 | 対応する立替金確認メッセージ（存在すれば）の[1]データ処理No.の値と同じ（変更せず返信）。15バイト全体の中の右詰め5桁（表記例：「ssssssssss00001」）。 | 使用しない。 |

【注】 明細情報部分のフラット・階層構造について

・メッセージの明細情報部分の階層構造は、[1200]明細コードによって表現される。この詳細は、CI-NET標準BP「第3章第2節3. 3.16明細コード」を参照。

・「明細情報部分がフラット」とは、この規則に準拠しつつも、全ての明細行の[1200]明細コードが4桁の数字であり、明細情報が階層構造をとっていない場合を意味する。

・一方、「明細情報部分が階層構造を持つ」とは、フラットでない場合を意味する。なお、階層構造を持つデータを前提としたシステムを使用する場合でも、あるメッセージにおいて明細情報部分の構造がたまたまフラットになることも想定されるが、このケースでも[1179]帳票データチェック値の7回目マルチの値は1（階層構造を持つ）でよい。

【例】



図B.Ⅶ- 18明細情報部分がフラットなデータの例

【例】



図B.Ⅶ- 19　明細情報部分が階層構造を持つデータの例

B.情報表現規約

### Ⅷ．支払通知メッセージ

B.情報表現規約

### Ⅸ. 工事請負契約外取引メッセージ

帳票データチェック値の内容

|  |
| --- |
| [1179]帳票データチェック値  　メッセージデータの授受が正確に行われているかどうかをお互いにチェックするための項目。　例】全明細行数などをセットする。 |

・次表参照以降の通り。

表B.Ⅸ- 20　契約外請求、契約外請求確認メッセージの[1179]帳票データチェック値

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 回数 | 工事物件案内 | 契約外請求 | 契約外請求確認 |
| 1 | 工事物件案内メッセージの[1]データ処理No.、15バイト全体の中の右詰め5桁。 | 契約外請求メッセージの[1]データ処理No.、15バイト全体の中の右詰め5桁。 | 対応する契約外請求メッセージの値と同じ（変更せず返信）。 |
| 2 | 使用しない。 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 3 | 使用しない。 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 4 | 使用しない。 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 5 | 使用しない。 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 6 | 使用しない。 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 7  【注】 | 使用しない。 | 0またはブランク：明細情報部分がフラットである場合(15バイト全体の中の右詰め) | 0またはブランク：明細情報部分がフラットである場合(15バイト全体の中の右詰め) |
| 8 | 使用しない。 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 9 | 使用しない。 | 使用しない。 | 使用しない。 |

・データチェック値の1回目については、「00001」を正とするが、当面は「＿＿＿＿1」（ブランク1）も認める。

【注】

・メッセージの明細情報部分の階層構造は、[1200]明細コードによって表現される。この詳細は、CI-NET 標準 BP「第3章第2節3. 3.16 明細コード」を参照。

・「明細情報部分がフラット」とは、この規則に準拠しつつも、全ての明細行の[1200]明細コードが 4桁の数字であり、明細情報部分が階層構造をとっていない場合を意味する。

B.情報表現規約

### Ⅹ.基本契約メッセージ

その他

|  |
| --- |
| [1179]帳票データチェック値  　メッセージデータの授受が正確に行われているかどうかをお互いにチェックするための項目。　例】全明細行数などをセットする。 |

・次表参照以降の通り。

　表B.Ⅹ- 7　基本契約申込、基本契約承諾メッセージの[1179]帳票データチェック値

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 回数 | 基本契約申込 | 基本契約承諾 |
| 1 | 使用しない。 | 対応する基本契約申込メッセージの[1]データ処理No.の値と同じ（変更せず返信）。 |
| 2 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 3 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 4 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 5 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 6 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 7 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 8 | 使用しない。 | 使用しない。 |
| 9 | 使用しない。 | 使用しない。 |